

少子化やコロナ禍で大きく変わる医学部受験

塾や予備校の選択が
医学部合格やその後を
左右する

富士学院 学院長 坂本 友寛



志願者減で
チャンスが増えるも
簡単ではない医学部入試

新テスト元年、コロナ禍のなかでの試験実施と、2021年度は従来とは大きく異なる入試となりました。数字をあげながら説明しましょう。

まず、今年度から新たに導入された共通テストですが、全体の志願者が53万5245人で昨年度比2万2454人減、受験者は追試験者を含めて48万4114

人で、昨年度比でなんと4万2950人の減少となりました。ただし、国公立大学の医学部医学科の志願者と受験者数を見ると、ここ数年連続で減少しているものの、それぞれ2万1883人(263人減)、1万3662人(520人減)と、その前年の大幅な減少と比べると、下げ幅は少し落ち着いたように思います。

対して私立大学の医学部医学科の志願者・受験者状況は、まだ受験者数については正式に発表していない大学が若干あ

りますが、志願者数は9万1223人で昨年度より9403人も大幅な減少となりました。今年度は獨協医科大学が受験日を1日増やし、聖マリアンナ医科大学が新たに後期試験を導入しているの、単純な昨年度との比較でいうと1万人以上の減少となります。これには少子化だけではなく様々な要因が考えられますが、一つの大きな要因としては、やはりコロナ禍の影響があると思います。この志願者、受験者数の大幅な減少は、様々な影響を周りに及ぼしています。受験生にとってはまさしく受験生が減った分、医学部に合格しやすくなったことは間違いない、富士学院でも医学部医学科への実質合格率は、例年の50%を大幅に超え、約56%の合格率(448人中249人合格)となり、過去最高の合格者を出すことができました。また、これまで他の予備校を含めてなかなか結果の出なかった多浪生たちの多くも、これまでの努力が実り合格を勝ち取ることができています。ただ受験生が減って合格しやすくなったとはいえ、全ての塾や予備校が合格者を増やした訳ではなく、合格者を減らした塾や予備校も多くあります。その差はどこにあるのでしょうか。

コロナ禍の医学部入試は
総合力が求められた

今年度の受験はまさしくコロナ禍の中

での受験で、多くの受験生は様々な不安を抱えながら受験に臨みました。1回目の緊急事態宣言下では授業がストップし、その後はオンラインでの授業になるなど、多くの受験生はこれまで経験したことのない学習環境のなかで勉強をし、受験を迎えました。いくら力があっても不安を抱えながらの受験では、自分の力を全て出し切ることは難しくなります。そういう意味でも、今年度の受験は学力面だけではなく、メンタル面も合否を大きく分けることにつながったように思います。どれだけ不安を払拭して、受験に臨めたのか?最後まで諦めずに自分の持つ力る力を全て出し切れたのか?こういう強い気持ちや意識を含めたメンタル面の指導がきちんとできていたのかなど、最後まで生徒一人ひとりを全力で応援できたかどうかの差が、合否を分ける結果につながったように思われます。

また、この大幅な志願者・受験者減は、これまであまり見ない現象も生みました。いくつかの私立大学、医科大学では、補欠合格者が全て繰り上がり、本来合格者ではない二次合格者(二次試験受験資格者)から最終合格者を出す事態となりました。

これからは今まで以上に
予備校の選び方が重要

さらには、予備校にも大きな影響を及ぼしています。それは来年度の合格を

めざし、今年新たに浪人した受験生が大幅に減少したことです。そのため大手を含めた多くの塾や予備校で、生徒数が大幅に減ることになり、深刻な問題となっています。生徒が減った分、経営が苦しくなり、存続のために人員整理や給与のカット、また講師料の引き下げを行っている塾や予備校の話を最近よく耳にします。しかし、そうすると当然講師やスタッフの士気が下がり、そのしわ寄せは全て生徒自身に来ることになります。

特に経営基盤が弱い医学部専門予備校では、その傾向が顕著で、これまでの少子化の影響もあり、潜在的に経営難を抱えている予備校が多くあると思われます。

しかしもっと怖いのは、今年大幅に減った浪人生達が受験をする来年度以降です。18歳人口は今後もずっと減り続けます。医学部の合格定員が変わらない以上、来年度の浪人生は今年以上に大幅に減ることになります。確かに浪人生が減り、18歳人口も減少していくことで、受験生にとっては合格のチャンスは広がってきます。しかし二方このことは、塾や予備校にとっては大きな死活問題となり、今後さらなる試験が待ち構えることになりま

したり、つぶれたりする所もかなり出てくるでしょう。そのうえで私が一番心配していることは、始めから目先のお金だけを得るために、授業料などをどんどんダンピングしてくる塾や予備校が増えることです。そういう塾や予備校が増える

と行き着く先はダンピング合戦となり、それぞれが体力を失うことで経営破綻がさらに加速してくることになります。また過剰なダンピングは、経営の質を落とし、授業の質が落ちるだけではなく、その他の様々な弊害を呼び、そのしわ寄せは全て生徒にくることになるのです。いくらダンピングにより授業料などが安くなったとしても、途中で経営が破綻してしまえば、一番困るのは生徒自身であり、またさらに授業料等も返つてこないという二重苦、三重苦にもなってしまう

高大接続を踏まえた
予備校の役割

受験生が減っているとはいえ、まだまだ難関である医学部合格を勝ち取るためには、塾や予備校の存在は必要不可欠です。だからこそ、どこかの塾や予備校を選ぶのかはまさしく合否を分ける大きなターニングポイントとなり、その選択がその後の人生を決めるといっても過言ではありません。

「経営基盤が整っていることを含め、安心して勉強ができる環境なのか」

「合格実績にうそや偽りがないのか」

「医学部入試情報を含め、医学部受験の学習環境があるのか」

「メンタル面を含め、様々なサポート環境があるのか」

「医師になる自覚や覚悟を育める環境があるのか」

など、生徒ご自身や保護者の方の厳しい目で、自身が学ぶ塾や予備校をきちんと選択していくことが必要です。説明会や入塾面接の際には、塾や予備校側が出してくるデータや話をそのまま鵜呑みにせず、納得するまで質問し、その塾や予備校の考え方や本質などをしっかりと見極めて下さい。またその塾や予備校の合格体験記にもぜひ目を通してほしいと思います。合格体験記や保護者の声を読めば、その塾や予備校の本質や考え方がよくわかるはずです。私は、医学部受験における高大接続の意味は、医学部に入るまでに医師になる強い自覚や覚悟をきちんと育んでいくことだと考えます。この事は大学関係者もよく言われます。それは、その自覚と覚悟がないと、せっかく医学部に入学しても、留年や放校・除籍につながるからです。大学では臨床実習の時間が増え、カリキュラムが過密になっている中で、そういった自覚や覚悟などの意識付けを行う時間はそうそうありません。実はそういった役割も、私達塾や予備校が本来担っていくべきなのです。

最後にこれまでずっと話をしてきたように、受験生が毎年減っている現状は、受験生にとってはまたとない合格のチャンスです。特にまだコロナ禍の影響が残る来年度入試は、今年の入試同様学力だけの勝負にはならないので、ぜひこのチャンス逃さずに掴んで下さい。医学部入試は他学部とは違い、医師になるための入試です。そのことを常に念頭に置き、これからの勉強をしっかりと覚悟を持ってぜひ頑張ってくださいと思います。

富士学院は医学部をめざして頑張る生徒一人ひとりを全力で応援しています。医学部受験に関するご質問やご相談があれば、全国にある富士学院各校舎までお気軽にご連絡ください。富士学院の各校舎は全て直営校で運営していますので、どの校舎にお問い合わせいただいても、富士学院としてのクオリティはきちんと保たれています。ぜひ安心してお問い合わせください。

医学部受験 富士学院

富士学院 検索

全て直営校で運営

東京御茶ノ水校：☎0120-01-9179

東京十条校：☎0120-02-9179

名古屋校：☎0120-9816-33

京都校：☎0120-05-9179

大阪校：☎0120-06-9179

大岡校：☎0120-9179-00

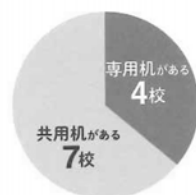
広島校：☎0120-09-9179

福岡校：☎0120-5251-22

鹿児島校：☎0120-66-9179

医学部受験 富士学院

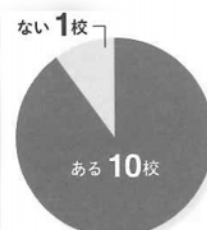
既卒生、現役生ともに自習室を完備。切磋琢磨できる環境は必見。平日は7:30~22:00、日曜は8:30~18:00利用可。既卒生は自分専用の机とロッカー完備。



Q 自習室はありますか？

医学部受験 富士学院

常駐する講師にはいつでも質問ができる体制を完備。オンラインやメール、電話での質問も可能。勉強のアドバイスを行う医学生生のチューターも在籍。



Q 授業時間以外で質問できる仕組みはありますか？

医学部合格を目指す
受験生の強い味方！

塾・予備校のサポート体制 について知りたい

医学部合格のためには、授業以外のサポート面も大切。
塾や予備校ではどんな対策を取っているの？
気になるポイントについて各校にアンケートしました。

取材・文／石村紀子

アンケート協力校

名称	特徴	現浪比(*)	
		現役生	既卒生
医学部受験 富士学院	全国主要都市に九つの直営校を展開。学院独自の厳しい採用基準で厳選された講師陣が全力で指導に当たる。現役生は個人指導を中心に、既卒生は1クラス8人以下の科目別・学力別クラス編成と必要に応じた個人指導で合格を目指す。	34%	66%

*在籍者のうち、2021年度入試で医学部を受験した生徒の現役生・既卒生のおおよその割合

医学部受験 富士学院

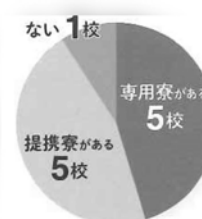
各科目の講師と担任、担当職員がチームを組み、生徒一人ひとりの現状を共有しながら、さまざまなアドバイスをを行っている。その他、定期的なチーム会議や面談も実施。



Q 志望校やメンタルについて
どんなふうにご相談できますか？

医学部受験 富士学院

校舎内や校舎の近くに専用の男子寮・女子寮を完備。机やベッド、冷蔵庫、洗濯機なども完備。食堂は通学生も利用できる。



Q 寮はありますか？

高校・大学と連携を取りながら将来の良医を育成

富士学院



DATA

- 【合格実績】 国公立大54人、私立大380人、専門学校4人
 【対象】 中学生、高校生、高卒生 【寮】 寮・専用食堂あり
 【学費例】 (一例) 入学金22万円 国公立177万1550円、
 私立348万2600円、完全個別指導コース520万9600円、
 個人指導70分1万5400円 特待生制度あり
 【校舎】 東京、名古屋、京都、大阪、岡山、広島、福岡、鹿児島に9校舎。
 「東京駅前/本校」東京都千代田区神田淡路町2-23
 番山ビル2F-3F TEL.0120-01-9179

合格は勿論、その先にある良医を見据えた指導を実践

現在、東京をはじめ全国に9校舎の直営校を構え、校舎内や近くに専用食堂と寮を完備。高卒生は国公立医学部コースのほか、無選択の私立医学部コース、国公立私立併願コースを設置。科目別学力別の少人数制クラス授業と個人指導が中心で、生徒の現状に合わせて、クラス授業のみや個人指導のみ、また科目毎にクラス授業と個人指導の併用ができる。その他生徒に合った夜学習システムがあり、自学習の環境も整えられている。中高生は個人指導を中心に、自学習ができる自習室を完備している。

講師には質問もできる、希望者にはクラス授業、個人指導共にオンライン授業も可能。毎年高い合格実績を誇り、今年度も2人に1人以上が医学部医学部に進学。国公立医学部に進むのも大きな特徴の一つ。また、高校で行う医学部入試セミナーや大学のオープンキャンパスで医学部入試対策講座は、毎年それぞれに高い評価を得ている。その他予備校では見られない医師、医大生のOB会組織があり、現在、医師32名を含む1000名が登録。合格後も良医になるためのサポートが続く。